

★国体へ散髪屋さんなどが協力……

県の理容師環境衛生同業組合、鍼灸マッサージ組合、クリーニング組合、公衆浴場環境衛生同業組合美容環境衛生同業組合からそれぞれ国体の参加選手や監督、役員に対して次のとおり料金を割引しますと申出がありました

- ・調髪 100円 ひげそり 50円
- ・洗髪 50円

- ・鍼灸、マッサージ 往診 200円 宅診100円
- ・クリーニング カッターシャツ 25円 トレーニングパンツ 50円 ズボン 120円 下着類 20円 その他 現行料金の2割引
- ・銭湯………現行料金の2割引
- ・美容………現行料金の2割引

★最終的な総合視察

国体を目前にひかえて、日本体育協会と文部省では最終的に県下の各開催地の視察を7月9日から11日にかけて行いました。

★国体の森を………

国体の参加選手から1人当り10円寄金してもらって国体の森をつくらうという計画が進められています。植樹計画は下表のとおりです

＜国体の森のための植樹計画＞

事務局名	植樹予定地	樹種	事務局名	植樹予定地	樹種
熊本市	水前寺競技場附近	未定	松橋町	事務局、御野立ランド、松橋高、西部中、豊川中、松橋小、豊橋小、豊川小	つつじ、さくら他多種
八代市	八代市東松江城町	フェニックス	御船町	城山公園及び妙見公園	桜
菊池市	菊池市大字隈府月見殿	月桂樹、メタセコイヤ、シヤクナゲ	阿蘇町	阿蘇町大字黒川南竹鶴	山桜又はつつじ
荒尾市	荒尾市運動公園野球場陸上競技場	もくせい	一の宮町	一の宮中学校掘牧場	青桐、野桜、おおごんひば、ヒマラヤシダ
水俣市	市庁舎前	ソテツ	長陽村	計画中	未定
人吉市	麓町、城山、城内球場附近人吉高校庭一中庭、人吉西小庭	メタセコイヤ	阿蘇郡	小堀牧、仙酔峡、色見小学校、地獄、垂玉寺水YMCA	さくら、ポプラ
玉名市	小岱山麓	月桂樹、いちよう	上松求麻村	鎌瀬山村有地	檜
山鹿市	山鹿中学校	イタリヤポプラ	北部村	北部中学校庭	月桂樹
本渡市	千人塚、十万山公園港町中央通り	吉野桜、イチヨウ、梅、椿			
宇土市	管内学校、市役所街路	杉、メタセコイヤ、イチヨウ、シダレヤナギ			

（前頁から）
 は予め県を経て建設大臣の指定を受けておこななければなりません。
地すべり対策
 地すべりは地下水等によつて土地の一部が移動するもので、人家、耕地、道路その他の公共施設等に大きな被害をあたえています。地すべり防止の対策としては縦孔ボーリング等によつて地下水位を判定して、横孔ボーリング等で地下水を排出し、この排水や雨水が再び地中にしみ込まないように水路工を設けて、安全な所に流します。なおよう壁や床固工を設けて地すべり地の山脚部を補強して地すべりを防止するのです。
 これら地すべり対策工事はすべて「地すべり等防止法」によつて施行され、地すべり防止区域に指定された区域内であれば施工できません。本県には現在約五十カ所の地すべり地域があつて、この内二十三カ所がすでに地すべり防止区域に指定されており、他の区域は現在申請手続を進めています。

本県の砂防工事は昭和七年に白川上流の各渓流に砂防堰堤九基がつくられたのが初めてで、その時の事業費は約一六万三千円でした。その後、その後の各渓流に施工された砂防の事業費は三十四年度まで約十三億六千万円でこれを現在の物価に換算すれば二六億七千万円になり、堰堤工及床固工合せて約五百基、流路工約二万米、山腹工約二千四百平方米が施工されていきます。

地すべり対策工事は二十九年にはじめられ三十四年度まで約四千二百万円が投資されています。（砂防課）

砂防はどう行われているか



普通、砂防工事は山間のへき地で行われていますので、一般の目につくことも少なく、あまり関心をもちていないようです。
 工事そのものも比較的地味ですが、山崩れや洪水などを防ぎ、水を治めるために砂防工事はその大きな基盤ともいえましよう。

砂防工事いろいろ

最近の水害の特長として二十八年の六、二六、水害当時のヨナの被害、及び三十二年の七、二六水害当時の松尾、天水地区の被害のように水の氾濫による洪水の被害というよりも、洪水におし流された土砂による被害が大きかつたもので

- す。砂防工事はこのような土砂の害を防止するのが目的です。
- 一、河の上流部で土砂ができるのを防ぐ。
 - 二、一旦作られた土砂が下流に押し流されないようにする。
 - 三、若し流れ出した場合、その土砂は害のないように処理する。

土砂はどうしてできる

では上流部でどうして土砂がつくられるか考えてみましょう。まず豪雨の際に荒廃した山腹が崩壊して土砂がつくられます。そして上流部の河川は一般に勾配が急で、特に現在のように、山地が荒れていけば、強い雨が降ると雨水は一時に激流となつて、河を流れ下るので、河床や河岸を縦横にえぐり取つて行きます。このえぐり取られた土石を交えた流水はます／＼その力を得て下流では、大きな土石流となつて大災害を起すことになるのです。

護岸による砂防工事

この崩壊した山腹や非常に荒廃した山地には一般と同じ考えで植林をしても、決して森林にはならないので、あらかじめ不規則な土地は切りならし、傾斜の急な所には、石積を段々につくつたり、杭

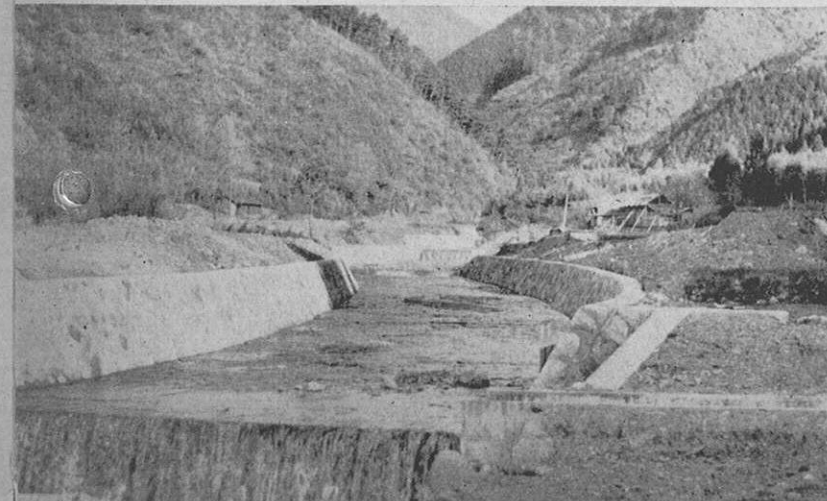
を打ち並べて柳枝など芽を出しやすいく組架で柵をつくつたりして傾斜を緩くし、藁束や肥料を埋めて悪い土地でもよく育つ種類の草木を植えたり種をまいたりして山腹を安定させます。
 なお勾配が急で、河床が深掘れし、河岸が侵蝕されて欠潰するところには、床固堰堤を階段状につくつて河床勾配を育成し、護岸を設けて河岸の侵蝕を防止し、山脚を固定しながら山崩れを防ぎ、土砂のつくられるのを防止します。

砂防ダムの効果

さらに河川の上流には、すでに作り出された土砂が多量に堆積して流れ出そうとしてますので、これを止めるために貯砂堰堤を設け、土砂の流れ出すのを防がねばならないのです。これが砂防堰堤といわれるもので、一般には土砂が堆積してしまえばその効果がなくなるように考へられていますが、これは間違いで、堰堤の堆砂区域は勾配がゆるやかになつていきますのでその後土石流があつても、流速をゆるめる結果、一時土砂を堆積して、その後、害にならない程度に徐々に流して災害を防ぐのです。これを砂防堰堤による流出工砂の調節作用といつています。

次に上流に砂防設備がない場合には多量の土砂が流れ出して急な溪流から割合に広い緩な谷間に出た所で堆積して、洪

＜完成した床固堰堤の例……多良木町仁原川＞



以上が砂防工事のあらましですが、この工事の事業費は国庫補助三分ノ二、県費三分ノ一でまかなわれています。なお施工するカ所は砂防指定地内であればできないので、砂防工事を必要とする所

（次頁下段へ）